

平成28年6月10日

株 主 各 位

会社名 アールビバン株式会社
代表者 代表取締役社長 岩本 一也
(コード番号 7523)
問合せ先 取締役経営企画室長 樋口 弘司
(TEL 03-5783-7171)

「第32期定時株主総会招集ご通知」の一部訂正について

平成28年6月8日にご送付いたしました当社「第32期定時株主総会招集ご通知」の記載事項の一部に修正すべき事項がございましたので謹んでお詫び申し上げますとともに、本ウェブサイトをもって下記のとおり修正をお知らせいたします（修正箇所は下線で示しております）。

記

【訂正箇所1.】 4 ページ （提供書面）事業報告 1. 企業集団の状況（1）当事業年度の事業の状況

（訂正前）

以上の結果、当連結会計年度の売上高は 59 億円 29 百万円（前期比 4.0%増）となりましたが、高額美術品の商品評価替えの損失の計上により、営業利益は 7 億 12 百万円（前期比 5.3%減）となりました。また、前期における円安による為替差益 196 百万円 がなくなったことにより経常利益は 7 億 1 百万円（前期比 27.8%減）となりましたが、債権担保融資事業における貸倒引当金 210 百万円 の計上があったものの、美術品担保融資事業における和解金の入金があったことにより、親会社株主に帰属する当期純利益は 5 億 32 百万円（前期比 5.1%増）となりました。

（訂正後）

以上の結果、当連結会計年度の売上高は 59 億 29 百万円（前期比 4.0%増）となりましたが、高額美術品の商品評価替えの損失の計上により、営業利益は 7 億 12 百万円（前期比 5.3%減）となりました。また、前期における円安による為替差益 1 億 96 百万円 がなくなったことにより経常利益は 7 億 1 百万円（前期比 27.8%減）となりましたが、債権担保融資事業における貸倒引当金 2 億 10 百万円 の計上があったものの、美術品担保融資事業における和解金の入金があったことにより、親会社株主に帰属する当期純利益は 5 億 32 百万円（前期比 5.1%増）となりました。

【訂正箇所2.】 39ページ 株主総会参考書類 第2号議案 定款一部変更の件 1. 提案の理由

（訂正前）

なお、現行定款第22条第2項の変更に関しましては、各監査役の同意を得ております。

（訂正後）

なお、現行定款第32条第2項の変更に関しましては、各監査役の同意を得ております。

※当社ウェブサイトに掲載しております「第32期定時株主総会招集ご通知」のPDFファイルは、訂正済みのものがございます。

以 上